

細見美術館

末法

APOCALYPSE



末法 / APOCALYPSE

—失われた夢石庵コレクションを求めて

平成29年10月17日|火|—12月24日|日|

主催 | 細見美術館 京都新聞 末法展開催実行委員会 協力 | HIGURE

開館時間 | 午前10時—午後6時(入館は午後5時30分まで) 休館日 | 毎週月曜日

入館料 | 一般 1,300円(1,200円) 学生 1,000円(900円) ※()は20名以上の団体料金

会場 | 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 <http://www.emuseum.or.jp>



末法 / APOCALYPSE

—失われた夢石庵コレクションを求めて

平成29年10月17日|火|—12月24日|日|

末法とは、仏教で釈迦の死後、その教えが次第に衰え、悟りを開く者もなく、教法だけが残る時期をいいます。永承7年(1052)に、末法の世に入るという予言を信じた平安の貴族は極楽浄土への往生を願い、阿彌陀来迎図など華麗で優美な作品を生み出してきました。また、弥勒菩薩が出現し救済する将来を信じ、經典や仏像を伝え残すために、経筒に入れて地中に埋納して守ってきました。

本展では、荒廃した世に生きた人々の希望であった仏像や絵画、經典、鏡像など、珠玉の仏教美術を中心に紹介します。

表|題字：国宝「賢愚経」甲巻(白鶴美術館蔵)より
弥勒菩薩立像 一軀 鎌倉時代(個人蔵)

【会期中イベント】 ※事前申込制・有料。詳しくはホームページへ

・第41回アートキューブレクチャー

11月11日|土| 午後2時—

登壇者：伊藤郁太郎氏(大阪市立東洋陶磁美術館 名誉館長)

杉本博司氏(現代美術作家)

橋本麻里氏(永青文庫副館長・ライター)

・スペシャルギャラリートツアー

11月11日|土| 午後6時15分—

杉本博司氏(現代美術作家)×細見良行(当館 館長)

・茶室 古香庵 鑑賞茶会

陰翳礼賛 —「末法/Apocalypse」展によせて—

12月8日|金|・9日|土| 午後1時—、午後3時—、午後5時—

【次回展予告】

(開館20年記念展)

I 細見コレクション はじまりは、伊藤若冲

平成30年1月3日|水|—2月25日|日|

II 琳派展20 細見コレクション 抱一の花・其一の鳥

平成30年3月3日|土|—4月15日|日|

細見美術館

ご優待：本紙にて入館料をご優待
(4名様まで)

一般 1,300円→1,200円

学生 1,000円→900円

TEL 075-752-5555

<http://www.emuseum.or.jp>

【アクセス】

*市バス「東山二条・岡崎公園口」

下車 徒歩3分

*市バス「岡崎公園 美術館・

平安神宮前」

下車 徒歩5分

*地下鉄東西線「東山」駅

下車 徒歩10分

*ご来館には公共交通機関
をご利用ください。

